



Weekly Report

(いっしょに)

真岡 RC 中川宏行 会長テーマ『仲間と共にロータリーを楽しもう！』



■本日のプログラム

■司会

■点鐘

■ロータリーソング

外部卓話

SAA 篠原 英会員
中川 宏行会長
我らの生業

■幹事報告

幹事 小金 幹典 君

1. 大船渡市災害義援金の件
2. 上三川 RC 創立 30 周年式典(4/19)の件
3. 台湾斗六市表敬訪問(3/19～3/22)の件

■会長挨拶

会長 中川 宏行 君



皆さん、こんにちは、
真岡ロータリークラブ
第 3124 回例会のご参加
ありがとうございます。
はじめにお客様の
ご紹介をさせていただきます。

国際ロータリー第 2550 地区(宇都宮北クラブ所属)ガバナーエレクト二十修様。真岡西 RC 地区 DX 推進委員長、市井はじめ様。同じく真岡西 RC、RLI 委員会 FT 委員、七海あけみ様。本日は二十カガバナーエレクトにおかれましては次年度の準備等々大変忙しい中、当クラブにお越しいただき、卓話を賜りありがとうございます。私がロータリークラブに入会して 16 年になりますが、ガバナーエレクトの卓話は初めてだと思います。楽しみにしておりました。よろしくお願いいたします。今日はガバナーエレクトの卓話にふさわしい所と、ここ大前神社をお借りしての例会と致しました。先週の例会で会員の皆さまに書いていただきましたロータリーモメント・思い出・マジックの宿題は先程、二十ガバナーエレクトにお渡しいたしました。楽しい例会になると思います。どうぞよろしくお願い致します。

■本日のスマイルボックス

森田 淳 君

- 真岡西 RC(七海 pp 市井 pp) よろしくお願ひします。
中川 宏行君 二十ガバナーエレクト卓話よろしくお願ひします。市井さま、七海さま、ありがとうございます。
- 小金 幹典君 二十ガバナーエレクトにおかれましては次年度に向けて大変お忙しい中、卓話を頂き誠にありがとうございます。拝聴させていただきます。真岡西 RC 市井さま、七海さま、ようこそ!
- 柳田 尚宏君 本日はお忙しい中、二十ガバナーエレクト真岡 RC へお越しいただきありがとうございます。卓話心して拝聴させていただきます。
- 岡本 俊夫君 第 2250 地区 2025～2026 年ガバナー二十修様、本日はありがとうございます。ご無理を快諾頂きプログラム委員長として深謝申し上げます。二十二年度の躍進をご期待申し上げます。真岡西 RC 市井 PP、七海 PP いらっしやい。IM ではお世話になりました。
- 広瀬 紀夫君 二十二様ありがとうございます。
斉藤 敏彦君 二十二様、ご来訪ありがとうございます。ゆっくりとお話を聞かせて下さい。
- 渡邊 佳寛君 二十二 GE、ご来訪誠にありがとうございます。あなたは昭和 32 年組の星です。会員の皆さま、保険をお考えの際に宇都宮のトーカイ安心サービスにご相談下さい。七海さん、市井さん、ようこそ!

【MU 会場案内】

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
宇都宮 90 : 東武ホテルグランデ 小山中央 : 思水荘	宇都宮 : 東武ホテルグランデ 宇都宮東 : ホテルニューイタヤ 小山南 : 小山グランドホテル	益子 : 益子カントリー 下野上三川 : 石橋商工会館 小山北 : 和風ダイニング彩華 真岡西 : フォーシーズン 静風	宇都宮西 : 東武ホテルグランデ 宇都宮北 : 宇都宮グランドホテル 小山 : 小山グランドホテル	小山東 : 小山グランドホテル

会長 : 中川 宏行 幹事 : 小金 幹典 会報委員 : 坂本光 大越正和 細島浩治 鈴木裕二 井川康紀

事務局 : 〒321-4305 栃木県真岡市荒町 1203 (真岡商工会館内) TEL.0285-84-2511 FAX.0285-84-2510

URL : <http://rc-moka.jp/> E-mail : rc-moka@sweet.ocn.ne.jp 会報担当 : 細島 浩治

■外部卓話「ロータリーを語ろう」
R I 第 2250 地区ガバナーエレクト二十二 修 様



私、次年度ガバナーを務めさせていただきます宇都宮北ロータリークラブの二十二と申します。この度はプログラム委員長直々にお電話を頂戴しまして真岡ロータリークラブの例会に参加してみてもどうかということでお誘いいただきまして、大変感謝いたしております。卓話ということですが、時節柄テーマにも困りまして、なかなか止め処もない話となってしまうと思いますが、聞いていただければと思います。

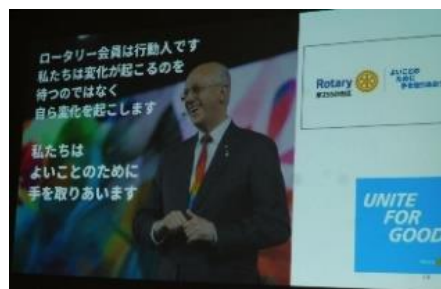
(1)2025 年度国際協議会報告



国際協議会はご存じのとおり、ガバナーになるためにこれに参加することが必須条件となっております。行われたのは2/9～2/13の5日間。宇都宮から高速バスで行ったのですが、現地到着までは丸々一日の工程となりました。初日は歓迎レセプション。2日目から4日間にわたって、本会とそれに付随する分科会が開催されました。分科会のテーマは直ぐにでも地区に戻って実践できる具体的プログラムが大変多く勉強になりました。また分科会は10名程度で行われます。日本人だけのグループもごさいますし、外国人も入ったの合同分科会もごさいます。その時は同時通訳の機械をつけての意見交換となります。スケジュールは朝7時から夜21時までが公式プログラムとなり

ます、その間5、6人の小グループに分かれて朝食・昼食・夕食を一緒にとって意見交換という立て付けとなっていま

す。私はスマホのアプリを持っていきましたが、まったく役に立ちませんでした。今日いっちゃっている中から必ずやガバナーが出ると思います、今から英会話の勉強をしておくことをお勧めします。7時から21時まで公式プログラム、プログラムが終了すると小休憩をばさんで日本国内34名のガバナーで意見交換、終了は深夜1時ぐらいで、その日の課題をこなして就寝するのは2時ごろ。最終日も2時に終わって3時に空港に向かって帰ってくるスケジュールでした。英会話と体力が必要です。(会長メッセージ)



会員増強は私たちの組織の最優先事項であり、もっとも価値ある資産であり、最大の課題であると強調いたしました。

そして今日会長エレクトとして皆様の前に立っている今、ロータリーの未来を確かなものにするには、会員増強に力を注ぐことが不可欠であると、これまで以上に確信しております。ロータリーの最大の資産は、その歴史でもプロジェクトでも、また比類のない世界的広がりでもありません。ロータリーの最大の資産は世界でもっとも有能なボランティアの集まりである会員です。多様な人々を引き付けるために必要な柔軟性の例であるといえるでしょう。これらのモデルがどこでも通用するわけではありませんが、従来の枠組みに捕らわれず、未来のロータリアンに手を差し伸べる機会を提供してくれます。未来のロータリー会員はそこにいるのです。私たちは彼らが今いる場所に近づいていかなければなりません。ビジネス団体、専門職団体、教育機関などと協力することで、職業や考え方の多様性を認めながら質の高い会員を引き付けることができるはずで、このようなパートナーシップは、量か質かといった誤った二者択一を排除します。奉仕と参加というロータリーの価値観を分かち合う専門職の人々に手を差し伸べることで、ロータリーが世界で良いことを行う能力を拡大することが出来るのです。最終的には私たちのすべての功績・プロジェクト、パートナーシップは会員に掛かっています。会員増強は単に会員数を増やすことではなく、私達の団結力をさらに強め、使命を確実に継承していくことです。まず誰も永遠に生きていけないという事を認識しなければなりません。悲しいですけど。クラブの老齢化を防ぐ唯一の策は、絶えず新会員を向かい入れることです。会員数が広がれ



ば奉仕の可能性も広がります。会員数が増えれば、より多くの人が奉仕に参加でき地域社会に多くのリソースを投入することができます。最後に、引継ぎ計画は極めて重要です。クラブは成長するか衰退するか、いずれかであり安定した会員基盤などはありません。私たちは会員の勧誘と意思をロータリー会員の世代から世代へと受け継がれる中核的価値観としていかなければなりません。そうすることで、ロータリーが今後も数十年にわたって活気とインパクトを維持できるのです。ロータリー会員はむしろ行動する人々です。私たちは変化が起こるのを待つのではなく自ら変化をおこします。行動する人々は何をやるのでしょうか?私たちは良いことのために手を取り合います。これが25・26年度の会長メッセージです。

「良いことのために手を取り合おう」

皆様、成長、奉仕の旅路を共に歩いていきましょう。皆で団結し全ての人々の明るい未来を創るロータリーを築いていきましょう。ありがとうございました。

(2) 「ロータリーを語ろう」

私は福岡県でお寺の孫として生まれたのですが、父は長男でありましたが、厳しい修行についていけなかったのか、東京オリンピック直前の1963年に家族4人で宇都宮の方に引っ越してまいりました。それから小学校から大学までずっと宇都宮におりました。残念ながら大学は修業が足らずに途中で断念して、それからは今の保険代



理店の仕事をさせて頂いております。趣味は「ロータリー」と「山歩き」です。経歴については地区では主に青少年畑を主にやってまいりました。趣味はハイキングが好きで近くの山をパートナーと二人でリュックを背負って出かけており



ました。最近では残念ながら体力も落ち、時間も無くなり行けてないので、またいい機会があったらご紹介いただければと思います。もう一つの趣味はロータリー、2018年国際大会があった時にロータリー発祥の地、シカゴ町を肌で感じたくて行ってきました。今日、皆さんにご自身のロータリーのモメント、ストーリー、思い出、マジックをいろいろ書いていただきありがとうございます。読み切

る時間がなかったので、戻りましてゆっくり見させていただきます。私のロータリーの思い出は、私は長く青少年プログラムに関わっておりまして、2009年から地区のITを務めておりました。2010年に前任の委員長から依頼を受け地区の委員長を務めさせていただきました。その時、当地区ではインターアクトの国際理解を深めるため、海外の研修を地区がサポートしていた歴史がございました。古くは韓国・タイで高校生同士の交流するプログラムを実施してきました。2009年の年は残念ながら諸般の事情で海外研修の実施ができませんでした。前任の委員長はそれを非常に悔いて、なんとか次の年度は復活させてほしいという強い要請を受け2010年の7月に委員長に就任したわけでありまして、当時の青少年プログラム先輩にご尽力もありまして、翌年3月実施という事で復活



の目途がたちました。7月から企画を立て、募集をし、オリエンテーションをし、男女40名のインターアクターの応募がありまし

たが、そんな中、2011年3月11日、東日本大震災が発生いたしました。出発を25日に控えておりましたので、当然大騒ぎとなり、先輩方は、こんな時期にそんなことをやるべきではないと中止の勧告を受けました。しかしここで中止してしまったら、もういつ復活できるかわからないといった強い思いがありまして再募集としました。こういう時期でありましたし、なかなかOKを出してくれる学校・クラブも少なく、最終的には2校5名での実施となりました。その5名の中の一人は県北に住んでいる女子学生で自宅が倒壊して着るものも、生活道具も何もないので辞退しますという学生もおりました。その学生は友達から洋服を貰ったり、親族からの支援もあり、出発直前にキャンセルを取り消す運びとなりました。その学生を入れても5名でした。ちょっと暗い時期で出発、空港に着くと放射能検査を受け、異常がなければ入国といったちょっと寂しい状況で台湾の目的地に到着しました。駅のエスカレーターを降りたロビーに100名以上の台湾の学生とロータリーメンバーが、旗を振り、楽器を鳴らし大歓迎をしてくれました。いまでも当時のことを思い出すと涙が出そうになりますが、これで一挙に不安は吹き飛び、とても良い交流となりました。自宅が倒壊して参加した学生もこれをきっかけに高校を卒業して北京大学に進みました。また今日まで400名近い学生が行きました

